

19	単元名	10 課 私の家族・私の国	1 / 2
----	-----	---------------	-------

1 単元目標 「○は、□にいます」や「○は、□にあります」を使って話すことができる

2 単元の指導内容（本時 1 / 2）

課	単元	指導内容	主な表現と語彙（例）	字
10	19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家族の言い方</li> <li>・ 場所を表す助詞の使い方</li> </ul>	「これは、わたしのおじいさんです。」 「おじいさんは、○にいます。」 お父さん・お母さん・おじいさん・おばあさん・お兄さん…妹	長音
	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 過去の表現</li> <li>・ 天気の見え方</li> <li>・ 濁音の表記の理解</li> </ul>	「います・あります」 「○に□がいます。」・「○に□があります。」 自分の国の名物（建物・食物）	促音

3 本時の指導目標

- (1) 家族の言い方が分かるようにする。
- (2) 場所を表す助詞「に」の使い方を知り、家族がどこにいるかを言うことができるようにする。

4 指導のポイント

- (1) 写真を見ながら、「これは、私のおじいさんです。」などと紹介させる。
- (2) 写真や地図を見ながら「私のおじいさんは、○にいます。」といった説明をさせる。

5 アクティビティ（活動）の方法及び留意点

【活動】

- 教師が、幼少のころからの写真を見せ、「これは、私のお父さんです。」と言いながら家族の言い方を教える。また、教師が「私のおじいさんは、日本にいます。」と言って、板書しワークシートの世界地図の日本の場所を指し示す。その後、児童・生徒に「○さんのおじいさんは、どこにいますか？」と質問して、答えさせる。この質問については、児童・生徒の中には、家庭の事情で両親と離れて暮らしている者もいるので配慮を要する。

【留意点】

- 長音の指導に当たっては、次のような仮名遣いの原則と例外があることを踏まえて指導する。  
 あ列の長音 「あ」を添える。おかあさん・おばあさん  
 い列の長音 「い」を添える。おにいさん・おじいさん  
 う列の長音 「う」を添える。くうき・せんぷうき  
 え列の長音 「え」を添える。おねえさん  
 「い」を添える。せんせい・けいさん・れいぞうこ  
 お列の長音 「お」の代わりに「う」を添える。おとうさん・おとうと  
 「お」を添える。おおきい・おおかみ
- 長音は、拍感覚がつかめると正しく表記できるようになるので、手をたたきながら「おかあさん」と言う練習や「折りたたんで伸ばすフラッシュカード」(P85 参照)などが効果的である。

【長音のカード】

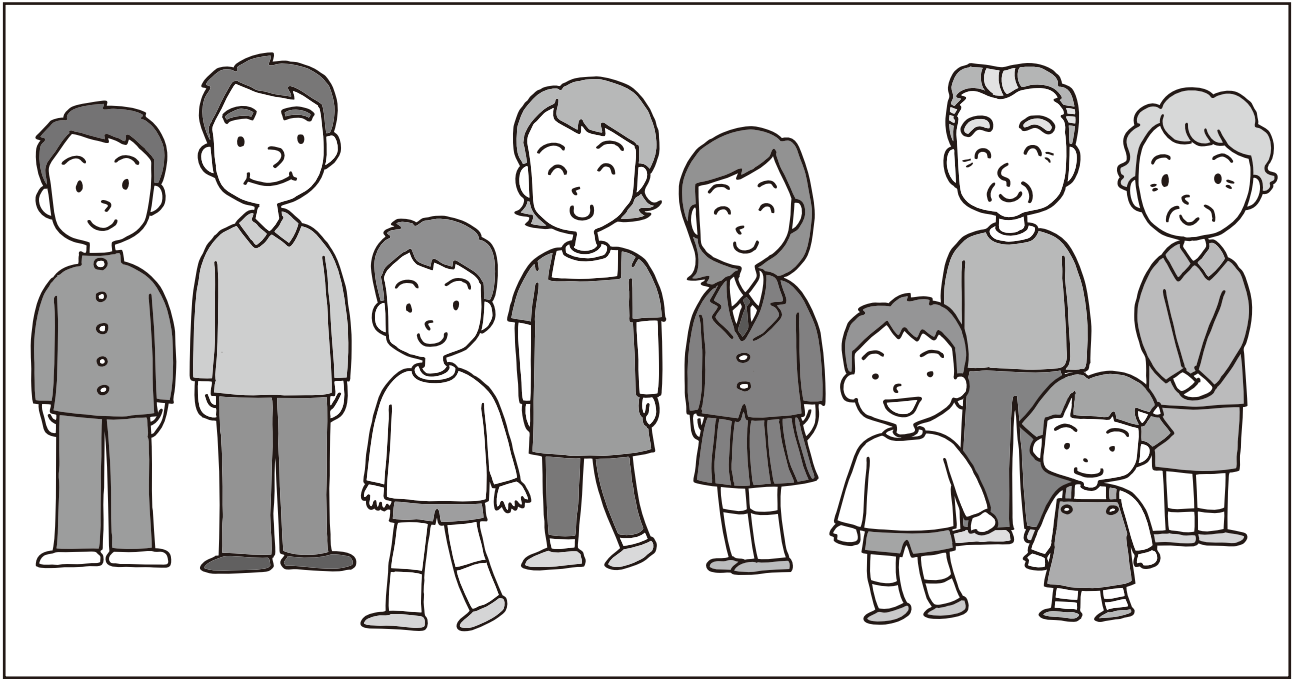
お	か	あ	さ	ん
れ	い	ぞ	う	こ

## 6 本時の展開

	学習内容	指導内容等	留意点・教材
挨拶	始めの挨拶 日付・曜日 天気 前時の復習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・始めの挨拶をする。</li> <li>・「今日は何月何日ですか？」と質問し「今日は〇月〇日です。」と日付や曜日、天気を答えさせる。</li> <li>・「曜日」「昨日は、〇月〇日でした。」など、前時の復習をさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低学年には「はらぺこあおむし」の読み聞かせ</li> <li>・曜日の歌</li> </ul>
活動 1	文型① ・わたしの家族 「わたしのおとうさん」 「わたしのおとうさんは、〇歳です。」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の幼少の頃の写真を見せ、「これは、私の家族です。」と言い、「わたしのかぞく」と板書する。</li> <li>・教師が、「これは、私のお父さんです。」「私のお父さんは、〇（名前）です。」「私のお父さんは〇歳です」と言う。「〇さんのお父さんは？」と質問し、「私のお父さんは、〇歳です。」と答えさせ、板書する。この後、児童・生徒の他の家族について同様に質問し、答えを板書する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事情で家族と離れて来日している児童・生徒もいることから、家族に関する質問は配慮して行う。また、小学生の低学年は、家族の歳を言えない場合もある。</li> <li>【発展】 小学校高学年・中学生には「父（ちち）」、「母（はは）」という言い方も指導する。</li> </ul>
活動 2	文型② 「わたしのおじいさんは、〇にいます」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が「私のおじいさんは、〇にいます。」と言って、写真の父と地図を指さし、理解させる。</li> <li>・「〇さんのおじいさんは？」と質問し、児童・生徒に「私のおじいさんは、〇にいます」と答えさせ、板書し、その後同様に他の家族について質問する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の写真</li> <li>・世界地図</li> <li>【発展】居場所が同じであれば、「も」も指導する。「おじいさんは、中国にいます。」「おばあさんも中国にいます。」</li> </ul>
活動 3	文字 ・長音	「あ」の音「おかあさん」「おばあさん」 「い」の音「おにいさん」「おじいさん」 言うときは「せんせー（え）」書くときは「せんせい」、言うときは「おとー（お）さん」書くときは「おとうさん」と言いながら指導する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「折りたたんでのばすフラッシュカード」の活用が効果的（85ページ「促音カード」を参照）</li> </ul>
挨拶	終わりの挨拶	終わりの挨拶をする。	

※ 本課以後は、授業の始業時に挨拶の後、日付・曜日・天気に関する質問をして答えさせ、板書する。

# 7 教材・ワークシート



○ぼく・わたしの おとうさん・おかあさん は、○(名前) です。

• の、 は、 です。

○ぼく・わたしの おとうさん・おかあさん は、○さいです。

• の は、 さいです。

○ぼく・わたしの おじいさん／おばあさんは、 　　です。

• の、 。

○ぼく・わたしの おじいさん／おばあさんは、○さいです。

• の は、 さいです。

○ぼく・わたしの 　　は、○さいです。(おにいさん・いもうと・おばあさんなど)

• の は、 さいです。

• 。

• 。

おとうさん 		おじいさん 
おかあさん 		おばあさん 
おにいさん 		おじさん 
おねえさん 		おばさん 
おとうと 		
いもうと 		

○ぼく・わたしの○は、○に います。

• の、 は、 にいます。

○ぼく・わたしの○は、○に います。

•

のばすおとのことは

 おかあさん	 おとうさん	 おにいさん	 おねえさん
 おとうと	 いもうと	 せんせい	 とけい
 ぼうし	 ひこうき	 おおかみ	 こおり

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- 12
- 13
- 14
- 15
- 16
- 17
- 18
- 19
- 20
- 21
- 22
- 23
- 24
- 25
- 26
- 27
- 28
- 29
- 30